

表面科学技術者資格認定試験合格のために

試験に合格された方に、勉強法についてお聞きしました。
合格を目指す皆さんの参考になれば、幸いです。

① Alice さん

- ・基礎講座を受講。また、受講資料を復習した。
- ・学会の HP 上に掲載されている試験問題例を繰り返し解く。(分からない問題は解答・解説を解読した。)

② Bob さん

- ・学会の HP に公開されている問題集を繰り返し解く
 - 1) まず回答を見ないで解き、回答を確認し、曖昧なところと間違ったところは解説を読む
 - 2) 2 回目は上記のあいまいなところと間違ったところを解く
 - 3) 3 回目に最終確認として全部の問題を解きなおす

③ Caroline さん

- ・学会の HP 上に掲載されている問題集、回答をよく勉強
- ・わからない点が出てきた際は、教科書やインターネットを活用して調査
- ・まず、ノーヒントで実施し、回答確認後、もう一度通してチェック
- ・勉強時間はのべ 4~5 日、合計で恐らく 15 時間以上

※機器分析の経験があり、知識に自信があったが、実際に問題を解くと、わからないことや勘違いしていたことが非常にたくさんあった。また物理の公式など久々に振り返る良い機会となり、新たな知識を習得できた。

④ Dylan さん

- ・基礎講座を受講し、動画にて勉強
- ・その後、試験 HP の練習問題を解いた
- ・HP で公開されている解説を読みながら理解していき、わからないもしくはより詳しく知りたい内容に関して書籍や論文などで勉強 (HP は、解説が充実しており、解説を読んで理解していくのがメイン)
- ・分析で重要なところなどが詰まっており、分析を深く理解するのにすごい良く、実業務にも役立つと思います

⑤ Eva さん

- ・基礎講座を受講していないので、学会の HP に公開されている問題をひたすら解く
 - 1) まず HP に公開されている問題をざっと解く
 - 2) 間違えた問題に印を付け、解説をよく読んで理解する
 - 3) もう一度、HP に公開されている問題を解く
 - 4) もう一度間違えた問題に印を付け、解説をよく読む
 - 5) 1)~4) で自身の苦手な分野が判明するので、徹底的に苦手な装置、手法を解きまくる

※苦手ポイントは、使用経験の無い分析装置がほとんどだったため、YouTube や Web サイトを探してイメージを定着させました。

※座学だけでは分析装置は理解できないため、動画や HP で学習することは効果的だったと思う。

⑥ Frank さん

- ・学会の HP で公開されている問題（解答付き）に目を通し、解説を読んだ
- ・解説を読んでも不明な点は、教科書や Web 検索で確認
- ・計算問題については、実際に手計算して、時間内に解答が得られるか確認
- ・学習時間が十分に取れなかったため不勉強な分野はあきらめ、わかる範囲で着実に得点するように心がけた

⑦ Grace さん

- ・資格試験に向けた勉強方法は、学会の HP にて公開されている問題の反復
- 1 週目（講義受講直後）：講義だけでは演習範囲・レベルを網羅できていないため、解答を読んで理解に努める
 - 2 週目：解答を見ずに解ける問題は少ないが、あと少しで出来そうか・手も足も出ないかを把握、また苦手な分野や分かり易かった講義を再度視聴し知識を整理
 - 3 週目：解答を見ずに求解し、解けない問題にチェック
 - 4 週目：3 週目でチェックがついている問題のみ解く

※講義によるインプットだけでは知識が身に付きにくいため、アウトプットによる知識定着を目的として受験（大事なことは、自分の受験目的を明確に）

※専門知識をつける手段として受験した（合格に対する強いこだわりがなかった）